

◎ 会員だより

7月号で一番初めに読んだのは「技術資格試験合格体験記」でした。技術士は土木職員であれば取得したい資格の一つだと思います。昔、貴誌の書籍の割引サービスで、技術士受験本を4割引で購入しましたが、これからもこのサービスは続けてほしいです。
匿名希望（都道府県勤務、53）

6月号の「特集」の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」は自治体だけにとらわれず地域として災害対策をするということでも理にかなっており、素晴らしい政策だと思います。しかし、その対策に盛り込まれなかった箇所は自治体が独力で災害対策を進めなければなりません。そういった自治体でも比較的容易にできるソフト面での災害対策やその中で有効だった対策を誌面に掲載していただけると今後の参考になると思います。
道岸 亮介（市町村勤務、31）

一級建築士は自分がいま取り組んでいる資格で、7月号の「技術資格試験合格体験記」は肌感覚で共感し、参考になりました。これからも楽しみにしております。
山本 純平（都道府県勤務、30）

6月号の「特集」の「災害に強い安全な国土づくり」に防災活動拠点の機能も備えた道の駅が紹介されており、ユニークな取り組みで参考になりました。
匿名希望（市町村勤務、36）

「諸外国のインフラ情報」は、世界にも目を向けて考えることができるとてもよかったです。これからも、日本のみならず先進国や発展途上国の技術課題なども紹介してもらえたらと思います。
匿名希望（市町村勤務、33）

6月号の新連載「災害査定の留意点」は、非常に重要な記事で、今後が楽しみです。今後もこのようなミニコーナー的なものが増えていくと、若い世代に好評を得るかもしれません。
匿名希望（都道府県勤務、44）

工事現場の施工中の写真をもっと載せてほしいです。
匿名希望

7月号の「事例から学ぶ現場力の向上」と同じ事例が本市にありました。追加買収となり用地交渉に時間がかかり大変でした。計画からしっかりした現場確認の必要性を実感しました。
匿名希望

「技術資格試験合格体験記」は、どのような姿勢や考え方を大切にすればいいのか、先輩だからこそのアドバイスが書かれているので今後も参考にしていきたいと思います。
匿名希望（市町村勤務、33）

7月号の表紙デザインが斬新で、写真レイアウトが全面になった点が、とてもよいと思います。
匿名希望

7月号の「特集」でスマートフォンを活用した新たな通報ツールとして関市の事例が紹介されていました。本市において、道路陥没等の電話での対応が非常に多いため、導入できたらよいと思いました。
匿名希望（市町村勤務、36）

7月号の表紙の首都圏外郭放水路の写真、壮大ですね。民間運営見学システムにより、一般の方の興味を引くことに限らず、地域の活性化に繋がるのはいいことですね！
匿名希望（都道府県勤務、42）

最新技術の導入、活用は生産性向上、維持管理の発展に多大な効果をあげるとは思われますが、長い間経験を培ってきた上層部の理解を得ることが重要であると思います。
匿名希望

7月号は会長の「上徳不徳」が無くちょっと残念でした。今回関心をもったのは「特集」の「富山市スタイル・インフラ・マネジメント」で、特に4.おわりに～今後とまとめ～が心にしました。
匿名希望



7月号の「会計検査の指摘事例とその解説」は、私が実施している事業に直接結びつくもので大変勉強になりました。
大谷 貴弘（都道府県勤務、51）

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。



一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・黒崎
TEL：03-3585-4546 / e-mail:kensetsu@zenken.com